

北海道生乳取扱者技術認定事業実施要綱

(平成11年6月29日酪畜第542号)

第1 趣 旨

北海道における生乳の品質改善と今後指向される生乳の品質格付け方法の多様化に対応し、乳質改善事業を効果的に推進するためには、生乳取扱者の生乳等に関する専門的知識及び生乳の自主検査の技術水準の向上等を図ることが必要である。

このため、意欲と能力を有する生乳取扱者や畜産関係技術者等を対象として、濃密な講習会を実施し、所定の要件を満たすものについて北海道生乳取扱者認定技術員（以下『認定技術員』という。）の認定を行い、乳質改善事業の効果的な推進を助長するものとする。

第2 定 義

- 1 この要綱において「生乳取扱者」とは、北海道内における酪農事業施設に搬入される生乳の自主検査業務並びに農業協同組合の乳質改善業務に従事している者をいう。
- 2 この要綱において「酪農事業施設」とは、酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律（昭和29年法律第182号）第10条第1号に規定する酪農事業施設および生産者からの生乳の受入れを行うその他の施設をいう。

第3 生乳取扱者技術認定講習会

- 1 社団法人北海道酪農検定検査協会（以下「協会」という。）は、生乳取扱者の知識および技術水準を高めるため、第4に定める受講資格者を対象として講習会を開催する。
- 2 講習会の開催期日、開催時期、講習科目、受講者定数等講習会の開催に必要な事項については、協会が知事と協議のうえ、別に定める。

第4 講習会の受講資格

講習会の受講者は、生乳取扱者または生乳取扱者になろうとするもので、次の各号の一に該当するものとする。

- 1 5年以上生乳の取扱業務に従事した経験を有する者。
- 2 学校教育法（昭和22年法律第26号）による高等学校を卒業した者またはこれと同等以上の資格を有する者で、2年以上生乳の取扱業務に従事した経験のある者。
- 3 学校教育法による大学を卒業した者またはこれと同等以上の資格を有するもので牛乳及び乳製品に関する専門の技術を習得した者。
- 4 前3号に準ずる者。

第5 認定技術員の認定および認定証の交付

- 1 協会は、生乳取扱者技術認定講習会（以下「講習会」という。）の課程を終了し、相当と認められる者については、別に定める生乳取扱者認定技術員認定申請書を作成し、知事へ提出するものとする。
- 2 知事は、協会から提出のあった認定申請書の内容を審査のうえ、別に定める認定基準を満たしていると認めたときは、これを認定技術員として認定し、生乳取扱者認定技術員に登録のうえ認定書を交付するものとする。

第6 認定の取り消し

- 1 認定技術員がその信用を失墜させる行為を行ったときは、知事は、協会の報告に基づき当該認定技術員の認定を取消することができる。
- 2 前項の認定の取消しを受けた者は、認定書を返納しなければならない。

第7 認定技術員の配置

酪農事業施設の管理者は、その管理する酪農事業施設に認定技術員を配置するよう努めるものとする。

第8 その他

この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定めるものとする。